幼児だより　１月号

2023 年 1 月 4 日

新年明けましておめでとうございます！　今年もよろしくお願い致します。

子ども達の元気な声や挨拶と共に、新しい年がスタートしました。
今年度も残り３か月となりましたが、子ども達の成長を見守りながら毎日楽しく過ごしていきたいと思います。

★クリスマスオラトリオ★

クリスマス会に向けてオラトリオの取り組みを頑張っていた子ども達。5歳児が中心となり、3･4歳児と共に少しずつ作り上げていきました。初めは自信がなかった子ども達も、それぞれの役になって歌を歌ったり、台詞を言ったり、動きを覚えたりして、取り組みを重ねていくうちにどんどんと自信を持った表情へ変わっていき、クリスマス会当日は緊張しながらも1人ひとりが頑張る姿が見られました。

★アドベント★

12 月に入り園内もクリスマスの装飾がされて、子ども達もツリーの飾り付けをしたり、毎日1枚ずつアドベントカレンダーをめくったりしてイエスさまのお誕生をお祝いする準備を進め、楽しんでいました。そして、21 日にはみんなでクリスマスお楽しみ会もしました！楽器を演奏したり、ダンスを披露したり、保育士のマジックを見たりして楽しみ、クリスマスメニューの給食もおいしく食べました！！

みんなで楽器を演奏したよ♪

得意のダンスを披露！
ドキドキ…

クリスマスツリーかわいく
飾りつけできるかな？

ケーキにサンタさんが
乗ってるよ！

くじらさんの作ったブーツが
入ってた！！

★大掃除★

4 月から使ってきたお部屋をみんなで大掃除しました。
子ども達はとても意欲的で、「先生！ここもする？」
「ここも綺麗にしたよ！」などと、自分達から
掃除をする所を探してピカピカにしていました！

★戸外遊び★

寒い日が続きますが、子ども達は元気
いっぱい！！「先生、外行きたい！」と、毎日
戸外で体を動かして遊んでいました。
公園へ散歩に行ったり、鬼ごっこをしたり、
サッカーをしたり、縄跳びをしたり、体を
動かすと「暑いー」と、上着を脱ぐ子も
たくさんいました！

くじらさんでサッカーが
ブームに！！

思いついたら、即行動

らっこ組で外遊びをしていた時の事。角のすみっこをエレベーターに見立てて、ぎゅうぎゅうになってエレベーターごっこを楽しんでいました。すると、急に

「大変です。エレベーターが故障しました!」

と誰かが言い出したことから始まりました。　それを聞いてすぐにままごとのかごの方へ一直線のＴくん。おもちゃを二つ持って戻ってきたＴくんは

「修理やで！」と真剣に壁を修理し始めました。その様子を見ていたらっこ組の友だちが次々にままごとのかごに走っていくのです。気づけば辺りは修理屋さんでいっぱいになっていました！

今までのＴくんの様子は、私たちが話しかけても恥ずかしそうにしていたり、どちらかと言えば黙々と自分の遊びを楽しむことが多かったのが、この修理屋さんの遊びは初めのエレベーターごっこからみんなの中心になって遊んでいました。そして、Ｔくんのひらめきと、それをすぐに行動に移したことで、みんながＴくんのしていることを真似てその遊びがさらに盛り上がりました。自分のしている遊びをみんなに聞こえるほどしっかり声に出せたことにも驚きました。また何よりも、みんなで修理屋さんをしていることがとても嬉しそうな姿に成長を感じました。これからも友だちとの遊びが楽しいものとなり、主体的に遊び、遊びを引っ張っていってくれる存在になると期待しています。

みんなでほってみよう！！！

保育園の横にある芦原橋公園に生えていた木が老朽化の為、伐採されました。中々、見れない大きな重機や切られていく枝や木を見て驚きとワクワクがいっぱいの子ども達でした。
木がみごとに切られた
次の日のことです・・・

みんな、芋がある！
掘ってみよ

ほんまや！
芋や

めっちゃ大きな
芋ありそうやな

Ｒくんの見つけた“面白そう”を聞いてみんなで掘っていきます。
中には木の根っこだと分かっている子もいて「昨日まで木、生えてたじゃん」という子もいましたが、さつまいもは土の中に出来ると言うこと、根っこが畑で土を掘った時に見え出した芋の形に似ていることからＲくんは信じて、掘り進めていきます。
しばらく掘り進めると根がたくさん見えてきたので芋掘りのように引っ張ってみることになりました！！！

大きなカブみたいやな

うんとこしょ！
どっこいしょ！！！

みんな
引っ張ってな

Ｒくんの発見に対して、みんなが一緒になって知恵を出し合いながら経験したことを活かし、取り組んだ結果、芋は出てはきませんでしたが、皆で協力すること、絵本の世界を体験することができました。
日々の１つ１つの活動を子ども達は吸収し、遊びや生活に活かしていることを改めて感じ、これからも子ども達の発見に対して一緒に取り組める存在でありたいと思いました。

おりがみ、いっしょにやってみよう

３歳児のＫちゃんが、「わたしもサンタさんしたい」と折り紙に興味を持ちました。それを見ていた４歳児のＮちゃん。Ｎちゃんは作り方をマスターしたので「私が教えてあげようか？」とＫちゃんと一緒に作り始めましたが、Ｎちゃんは Ｋちゃんに説明しながらほとんど自分で折っています。

「Ｎちゃん、Ｋちゃんも
自分で折れるようにしてみたら？」

保育士からの言葉掛けで、自分がＫちゃんの分も折っていることに気付くＮちゃん。しばらく考えて、Ｎちゃんは自分の折り紙を持って見せながら説明することに。

自分の手元がＫちゃんに見えるように、
体をＫちゃんの方に向けて伝えています

「ここ、アイロンして。そうそう。」

1人で押さえるのが難しいところは
ちょっとだけお手伝い。

そうして完成したサンタさんの折り紙。Ｋ ちゃんは教えてもらいながら自分で出来たことが嬉しそうです。Ｎちゃんは Ｋちゃんの姿を見て「もう一個作る？」と新しい折り紙を出してあげていました。

　自分が知っていることを相手に分かるように伝えることは、大人でも難しく感じることがあります。Ｎちゃんは Ｋちゃんの様子をしっかり見て Ｋちゃんに合わせて伝えていました。相手に伝えるためには、まずは相手のことをよく見て相手の気持ちになることが大切だとＮちゃんの姿から学ばせてもらいました。

あれ？なんで？？不思議だな…

12 月のとても寒かったある日、戸外で遊んでいると雪が降ってきました。珍しい雪に子ども達も大喜び！大興奮していました。その日の雪は硬めでコロコロとしていたので、らっこ組の A ちゃんも大喜びでマットに落ちた雪を拾おうとしました。しかし…

手のひらにのせて…

あれ？ないな～
落としちゃった？？

もう 1 回！
今度こそ拾ったぞ！！

先生！ほら、見て！！
雪拾ったよよ！

あれ？ない！？拾ったのに…
どこいったの？？

雪なくなっちゃったよ！！
あはは～と笑っていました☆

「先生、何で雪がなくなっちゃうの？」という言葉こそありませんでしたが、拾っては手を広げ「何で？」と言わんばかりにまた拾う A ちゃんの様子を見ていると、きっと拾っても拾っても溶けてなくなる雪に不思議さを感じているのだろうなと感じました。
私たち保育士は、日頃から子ども達には四季折々の自然にたくさん触れて遊んでほしいなと思っています。中でも冬の自然は、雪や氷、霜や結露など特別な冬ならではのものが多いので、体験できる機会を逃したくないなと思っています。しかし、最近は雪が降ることも滅多になくなり、水を張っていてもなかなか氷にはなりません。「今年はどうかな…？」と思っていた矢先に降った雪でした。やはり、自然に触れると子ども達なりの発見や不思議さ、疑問、気付きがあるので大切にしたいなと改めて思いました。雪や氷は天候に左右され、難しいこともありますが、今後も機会があれば逃さないようにしたいと思っています。また、雪や氷以外に霜や結露などにも子ども達が気付いて触れられるようにしたいなと感じました。